

令和4年度 江戸川区立東小松川小学校 学校関係者評価 中間評価用報告書

学校教育目標	ひがまっ子は みんななかよし 夢がある ○思いやりのある子 ○考える子 ○やりぬく子 ○じょうぶな子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	・子供の主体的な学習力を高められる学校 ・教職員が子供の目指すべき社会人であり、教育者である学校 ・地域・保護者すべての人と人とのつながりを大切にす学校
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> 感染症対応を十分に図りながら適宜教育計画を変更・実施4することができた。感染状況に応じながら開校80周年記念式典や関係行事を滞りなく実施でき、皆で喜びあえた。新校舎建設のための仮校舎移転を計画的に実施できた。 <課題> 制限ある仮校舎生活での安全・安心な学校生活の維持と各種の教育活動の保証。適切な感染症対応を図りながらも、さらに充実した創意・工夫した教育活動の実施とタブレットによるオンライン学習や公開の効果的な実施。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策
					取組	成果	評価	コメント	
いさいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	○7つの主な事業(取組)に対しての学校の組織的対応による取組の実施・充実として ・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「各教科の連携教育プログラム」による連携の充実 ・教科担任制の導入 一人一台端末を活用した個別最適な学びの実現 ・東京ベータンピックの活用	・教員相互の授業観察と改善 ・補習学習の実施 ・東京ベータンピックの活用 ・第6学年の教科担任制、学年学級間の担任単元交換指導の実施 ・タブレット等のICT機器の効果的な学習活用と教員研修の実施	教職員評価アンケート達成 90%以上	B	B	A	・補習学習などにも取り組んでおられるので、取組努力としては、十分に取組んでいると考えるが、これが全ての児童の学習力アップにつながると思いたい。 ・第6学年の教科担任制、学年学級間の担任単元交換指導の実施している。組織的な児童理解、教科指導力の向上等の成果が見られる。 ・タブレット等のICT機器の効果的な学習活用と定期的な実践的教員研修が実施できた。	・第6学年の教科担任制、学年学級間の担任単元交換指導の更なる充実から、教員相互の指導力向上も図りたい。 ・タブレット等のICT機器の効果的な学習活用を模索中である。タブレット端末とノート表記等の状況に応じた使い分けを図っている。 ・欠席児童にもWeb配信で授業提供しているが、固定場面の送信はむづかしい。
	体力の向上	○「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・充実 ・休学期間を活用した「運動遊び」の全校指導 ・体育科指導の充実	・体力向上のためのウツキウキタイムの実施 ・近隣スポーツ公園、公園を活用した体育学習や休み時間の運動遊び ・体育学習の指導改善 ・近隣校との連携での体育的活動や行事開催	教職員評価アンケート達成 80%以上 児童・保護者評価アンケート達成 80%以上	B	B	A	・校庭が使えない中、いろいろな工夫をされていることが伺える。児童の安全第一で引き続きよろしく願いたい。 ・取組みとしては、様々な部分で協力を要請していただいております、成果が上がっていると考えます。	・より効果的な運用を模索する。また、プール借用は、来年度に備えて検討中である。
	読書科の更なる充実	○読書を通じた探究的な学びの充実 ・(読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実 ・区立図書館との連携	・生活・総合を中心とした探究的な学び ・読み聞かせなどの読書推進の取組 ・図書館司書・司書教諭を中心とした環境整備 ・区立図書館と連携した学年文庫の充実	教職員評価アンケート達成 80%以上 児童・保護者評価アンケート達成 80%以上	B	B	B	・生活・総合を中心とした探究的な学びを展開中である。 ・図書館司書・司書教諭を中心とした環境整備を図っている。 ・区立図書館と連携し、学習内容に応じた学年文庫の充実が図られている。	・安易なタブレット端末利用に負けない本の魅力を伝えていきます。インターネットの普及で本を読む機会が減っている。
特別支援教育の推進	児童の興味・関心を広げる多様な体験活動	○読書を通じた探究的な学びの充実 ・(読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実 ・区立図書館との連携	・体育館等を活用した積極的な取組の工夫、出前授業やゲストティーチャーの招致と人材活用	児童・保護者評価アンケート達成 80%以上	A	A	A	・色々のイベントを企画していたり、引き続きお願いしたいと考えます。	・今後も施設状況に応じた魅力ある教育的取り組みを計画実施していきたい。
	共生社会の実現に向けた教育の推進	○個性の特性に応じた指導・支援の充実と「学校2020レガシー」による教育活動の継続 ・都立サピット/パラリンピック教育レガシー/アワード校としての活動の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副種交流、交流及び共同学習の推進	・オリンピックやパラリンピック等や関係者の招致と交流活動の実施 ・配慮を要する児童等の自立に向けた支援の家庭や関係諸機関との連携 ・復讐交流児童との直接・間接交流の実施 ・ひがこまルーム、多目的室等のエンカレッジルームの活用促進	教職員評価アンケート達成 90%以上	A	B	A	・都立サピット派遣によるパラリンピックの招致で有意義な体験活動が実施できた。今後は和太鼓の体験活動を計画。 ・配慮を要する児童等の自立に向けた支援の家庭や関係諸機関との連携を適宜図っている。 ・復讐交流児童との直接・間接交流の実施。 ・ひがこまルーム、多目的室等のエンカレッジルームの活用した個に応じた対応を図っている。	・子供は大人が考えるよりも多くのことを学び、受け入れられると思うので、いろいろな体験をしてほしいと思います。その機会を増やしてほしいと思います。 ・今後も配慮を要する児童等の自立に向けた支援の家庭や関係諸機関との連携を適宜図るとともに、ひがこまルーム、多目的室等のエンカレッジルームを活用した、個に応じた対応を図っていく。
	子供たちの健全育成	○子供たちの健全育成に向けた取組 ・いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・ハイパーQテストの実施・活用 ・チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	・「江戸川っ子・家庭ルール」「ひがこまスタイル」の推進・定着(ハイパーQテストの活用) ・関係諸機関との協力・連携	児童・保護者評価アンケート達成 90%以上	B	C	B	・「ひがこまスタイル」の定着を図っているが、生活実態や児童意識調査からは課題も見られ、まだまだ不十分である。	・校舎の改修などで感染症対応もあり、定着が難しいと感じており、定着の目標をもち続けることが大切と考える。
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	安心・安全な生活環境	○仮校舎での安全・安心な生活環境の整備	・生活時租表や災害時避難経路の変更 ・近隣公園の活用	教員・保護者評価アンケート回収率達成 90%以上	B	B	B	・実際の災害時には対応の不安があり、備品の確認が必要。	・回収率については、信憑性やより広く声を聞き取る観点から今後も協力を呼び掛ける。
	学校関係者評価の充実	○教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	・児童・教師・地域、保護者の3者からの学校関係者評価を年2回実施、分析、公表(保護者分) ・学校公開や各種行事でのアンケート実施と分析、改善	児童・教師・保護者評価アンケート回収率達成 80%以上	B	B	A	・保護者アンケートの回収率がスマホのアプリ利用にしたいために激減したが、改善が必要である。	・回収率については、信憑性やより広く声を聞き取る観点から今後も協力を呼び掛ける。
	特色ある教育の展開	「学校における働き方改革プラン」	○「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施 ・学校経営支援を担う人材の導入 ・学校経営支援を担う人材の導入 ・定時退勤日の導入	・「江戸川っ子・家庭ルール」「ひがこまスタイル」の推進・定着(ハイパーQテストの活用) ・関係諸機関との協力・連携	教職員評価アンケート達成 90%以上	B	B	B	・「学校公開や各種行事でのアンケート実施と分析、その都度改善に向けて活用している。
特色ある教育の展開	体験・経験を重視した課題解決学習	○「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施 ・学校経営支援を担う人材の導入 ・学校経営支援を担う人材の導入 ・定時退勤日の導入	・「江戸川っ子・家庭ルール」「ひがこまスタイル」の推進・定着(ハイパーQテストの活用) ・関係諸機関との協力・連携	教職員評価アンケート達成 90%以上	B	C	B	・東田学習に関しては、種別や取組等適切な時期があるために感染症発生に十分な準備ができていない。地域産業に関しては可能な範囲での体験的学習の実施中である。	・運田に限らず、随時体験的な学習を取り入れられるよう関係者等と調整していく。